

令和元年度 第3回  
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

令和2年2月17日（月） 10:00～11:30

2 場 所

管理・教室棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（5名）

私立大学講師，前町内会長（下宿主），公立中学校長，同窓会副会長，PTA副会長  
校内委員（9名）

教頭2名，事務長，教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任，商業科主任，  
教務部副主任（記録係）

4 会 順

(1) 教頭挨拶

(2) 各部等の年度反省と今後の課題

ア 教務部

イ 生徒指導部

ウ 進路指導部

エ 保健部

オ 商業科

(3) 学校評価アンケート結果報告

5 質疑応答，提言録

- ・ 自転車通学生に対してヘルメットの着用を検討できないか  
→ 現状では，高校でヘルメットを義務付けている学校はないが，今後検討が必要と考えている。
- ・ 子どもの学力が低下していることに対する工夫  
→ スマートフォンの普及も学力低下の一因と考えている。また，基礎学力を定着させ生徒の能力を伸ばすと同時に，最下層の生徒の引き上げも必要と考えている。
- ・ 鹿商生の挨拶ができる生徒が減ってきているのでないか。  
→ 部活動での上下関係も薄れてきて，意識が低下してきているのではないか。
- ・ 定員割れをおこしている原因は何か。鹿商で活動した生徒が成功体験を中学生に語る場があってもいいのではないか。  
→ 引き続き募集定員確保に向けて様々な取り組みを行う。また，在校生の中学生への成功体験を語る場の設定については前向きに検討する。

- 考える力が無くなってきたから学力が低下してきているのではないか。
  - 質問を投げかけた瞬間に「分かりません」という生徒が増えてきている。授業の改善に取り組む中で対応していきたい。
- 教員が自己評価で授業改善を課題に置いているところを見ると、相互授業参観の成果であると考ええる。
- 小学生に高校の魅力を発信していくことが必要ではないか。
- 部活動生の大学進学指導状況について。
  - 競技力に応じてスポーツ推薦を視野に入れた進路指導や、レギュラーでの活躍の場がなかった生徒には、学力向上に努めさせ、一般入試や推薦入試等での進路を想定した指導を行っている。
- インターンシップの企業について生徒の希望は募っているのか。
  - 幅広い協力企業を募り、その中で希望をとっている。
- 在校生に模擬面接を見せることは良いことである。
- 地域プロデュース部の活動は鹿商の名を広めている。この活動は生徒が考えているのか。
  - 生徒が考えたものに、教員がアドバイスなどを行っている。
- 坂元台小学校とのプログラミング教育の連携は、清水小や大竜小なども視野に入れてはどうか。
  - 前向きに検討したい。